

【求める15歳の姿】
受け入れ合い
支え合い
高め合う生徒
～互いの考えや意見を尊重
した発言・意見を通して～

鷺 中



TEL86-7950 fax86-7961

発行責任者：校長 鈴木 恭 朗

2学期末テスト終了 3年生は進路決定の大詰め 3者面談は12/5～

3年生にとっては、最後の定期テストが終了しました。このあとは進路の決定、そして3者面談が控えています。今回のテスト結果も顧みながら、家庭でじっくり話し合いを重ねてください。すべての生徒が、第1希望の進路を叶えることを先生方も望んではいますが、そうでない場合も、3年間頑張り続けることができそうな進路先を選ぶことが重要です。人生100年時代と言われています。その長い期間に、大きな試練を乗り越えなければならないときが何度も訪れますし、挫折を経験することもあります。いくつかのプランをもち、最善策ではなくても「よりよく生きる人生」を歩んでほしいと考えています。



鬼っ子フォーラム(11/15)に生徒会から2名が参加

生徒会長の [] くんが「みんなが通いたくなる学校づくり」の鬼っ子宣言

登別市内の小中学校、登別青嶺高等学校、登別明日中等教育学校から代表の生徒たちが集まり、「いじめをなくし、みんなが通いたくなる学校づくりを目指し、力を合わせて具体的な取り組みを広げていく」というねらいの、第2回鬼っ子フォーラムが、登別市民会館で行われました。本校からは、生徒会長の [] くん、副会長の [] さんが参加し、駿河くんは参加者を代表して、「互いの個性を認め合い、協力し、笑顔ですごせる楽しい学校を目指します」と堂々の鬼っ子宣言を行いました。

また、登別青嶺高等学校の [] さんが、2月に市内の学校で実施予定の「ピンクシャツデーキックオフ」提案を行いました。昨年度、市内各校で、いじめに反対する意思表示のため、ピンクのTシャツを着たり、ピンクのものを身に付けたりしました。本校でも、Tシャツの型に切り抜いたピンク色の色画用紙に、生徒がいじめ反対のメッセージを書き込み、廊下に掲示していじめ反対の取組を行いました。

今回のフォーラムを受けて、全校的ないじめ反対の取り組みを生徒会や学年協議会が中心となり広げてくれることを期待しています。



生徒会長が「みんなが通いたくなる学校づくり」を目指し堂々の鬼っ子宣言



文化・スポーツ本校生徒の活躍

【バドミントン部】

第42回NHK杯争奪

胆振中学校新人大会
女子団体 3位

【第50回中学生作文コンクール】

◇北海道放送賞 [] 「普通」と「特別」

◇北洋銀行賞 [] 「自分の気持ちは自分の字で」

◇優秀賞 [] 「世界平和」
「自分が目標としていること」
「正しい情報」